

抗酸菌研究会発足のお知らせ

結核などの抗酸菌による感染症は熱帯地域を中心に蔓延しており、日本国内においても生命に対する脅威であり続けています。この脅威に対し新たな予防・診断・治療法を開発することが求められております。しかしながら、抗酸菌を対象とした基礎研究、応用研究、臨床研究を実施している日本の研究者及び研究機関は限られています。こうした環境の中で成果を上げていくためには、人的資源を有機的に結び付ける研究者ネットワークを構築し、効率的に研究を推進できる環境を整えること、そのネットワークを基盤として、抗酸菌感染症に従事する若手研究者を育成していくことが必須であると考えています。

そこで、抗酸菌研究のトップエキスパートである先生方を発起人として、抗酸菌研究会を立ち上げることになりました。本研究会では、若手から中堅の抗酸菌研究者に研究発表の場を提供することで若手の育成を図るとともに、抗酸菌研究ネットワークに参加する研究者の間での情報交換の場を提供し、共同研究を通じた効率のよい抗酸菌研究を推進してまいりたいと考えています。

発起人

鈴木 定彦：北海道大学人獣共通感染症リサーチセンター 教授

松本 壮吉：新潟大学大学院医学研究科 教授

大原 直也：岡山大学医歯薬学総合研究科 教授

山崎 晶：九州大学生体防御医学研究所 教授

松崎 吾朗：琉球大学熱帯生物圏研究センター 教授

慶長 直人：公益財団法人結核予防会結核研究所 部長

山本 三郎：日本BCG研究所 所長

阿戸 学：国立感染症研究所 部長

柴山 恵吾：国立感染症研究所 部長

向井 徹：国立感染症研究所 ハンセン病研究センター 室長

世話人

梅村 正幸：琉球大学熱帯生物圏研究センター 准教授

和田 崇之：長崎大学熱帯医学研究所 助教

瀬戸 真太郎：公益財団法人結核予防会結核研究所 室長

宮本 友司：国立感染症研究所 ハンセン病研究センター 主任研究官

塚本 裕美子：国立感染症研究所 ハンセン病研究センター 主任研究官

前田 百美：国立感染症研究所 ハンセン病研究センター 主任研究官

田村 敏生：国立感染症研究所 ハンセン病研究センター 室長